

令和2年11月17日(火) 14:00~14:45

コロナ禍における臨床工学技士の対応 ～医工連携の新たな可能性～

主催:福井県、福井しあわせ健康産業協議会
企画運営:株式会社日本医工研究所



仲條先生からのコメント

新型コロナウイルスにより医療現場の負担は急増し、様々な課題が浮き彫りになった。コロナ禍の限られた医療資源のなか、感染リスクの可視化・遠隔マネジメントなど臨床現場のニーズが一気に創出された。これらの課題解決をどう加速化させていくか、これからの医工連携についてなど解説させていただきます。

仲條先生ご略歴

2007年～順天堂大学医学部附属順天堂医院で、主に集中治療室の呼吸・循環・代謝にかかわる医療機器の操作に従事。東京都臨床工学技士会では医工連携部会長として、医療機器開発をおこなう医療従事者の人材育成にも貢献しています。

東京都臨床工学技士会 理事 医工連携部会長
順天堂大学医学部附属 順天堂医院
CE 仲條 麻美 先生

▼下記サイトから、お申込みください



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_EyfwwQ3MQ2KmahhYfPhM_g